

講義名	中国文化研究			授業形態	
担当教員	市成 直子	開講期・曜日・時間	後期 金曜日 5 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

中国小説史 一 中国小説の世界一
 中国小説の歴史（古代～近代まで）をたどりながら、その変遷と発展過程の特徴を学び、多種多様な作品が存在することを理解する。合わせて作品中に見える中国の風俗文化に触れる。

到達目標

『三國志』や『西遊記』だけでなく、【中国小説】と呼ばれるものには様々な内容、ジャンルの作品があり、それが現代生活にも思っている状況を理解できるようになる。

提出課題

授業時に、授業内容に基づく提出課題を提示する。
 各自レポートを作成し提出する。
 提出方法については随時指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

学生自身が提出した小レポートの内容に基づき、授業時に適宜既習の講義内容を確認する。
 講義内容について各自が理解度を高める。

評価の基準

小レポート：70% 授業への積極的参加度：30%

履修にあたっての注意・助言他

毎回の授業内容を理解できていなければ、授業内容に即した正確なレポートは作成できない。
 注意：インターネット等での表面的な検索結果を使用してレポートを作成し、提出することは認められない。評価対象外とする。

教科書

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

参考図書

.なし。					

その他

授業時に資料を配布する。

授業計画

- 第1回 授業について 中国における「小説」という言葉について
 予習：『中国文学史年表』を確認し、各時代の代表的作品名を確認する（2時間）
 復習：授業内容を復習し、課題レポートを作成する（2時間）
- 第2回 「神話」における物語性
 予習：『中国古代の神話』作品を調べて、6作品を読む（2時間）
 復習：授業内容を復習し、課題レポートを作成する（2時間）
- 第3回 「思想書」の物語
 予習：『中国周代の思想哲学書』にはどのような作品があるのかを調べる（2時間）
 復習：授業内容を復習し、課題レポートを作成する（2時間）
- 第4回 「歴史書」の物語
 予習：『史記・漢書・』についてどのような歴史書なのか調べる（2時間）
 復習：授業内容を復習し、課題レポートを作成する（2時間）
- 第5回 「六朝志怪小説」と『志人小説』・『志怪小説』
 予習：『竹林の七賢』とはどのような人々なのか調べる（2時間）
 復習：授業内容を復習し、課題レポートを作成する（2時間）
- 第6回 「六朝志怪小説」と『志人小説』・『志怪小説』
 予習：『六朝志怪小説』とはどのような作品なのか調べる（2時間）
 復習：授業内容を復習し、課題レポートを作成する（2時間）
- 第7回 「六朝志怪小説」と『志人小説』・『志人小説』
 予習：『六朝志人小説』とはどのような作品なのか調べる（2時間）
 復習：授業内容を復習し、課題レポートを作成する（2時間）
- 第8回 「唐代伝奇小説」・『唐の小説』
 予習：『唐代とはどのような時代なのか』を調べ把握する（2時間）
 復習：授業内容を復習し、課題レポートを作成する（2時間）
- 第9回 「唐代伝奇小説」・『唐の小説』
 予習：指定された『伝奇小説』を一読し、内容を把握する（2時間）
 復習：授業内容を復習し、課題レポートを作成する（2時間）
- 第10回 「唐代伝奇小説」・『唐の小説』
 予習：指定された『伝奇小説』を一読し、内容を把握する（2時間）
 復習：授業内容を復習し、課題レポートを作成する（2時間）
- 第11回 「唐代伝奇小説」・『唐の小説』
 予習：指定された『伝奇小説』を一読し、内容を把握する（2時間）
 復習：授業内容を復習し、課題レポートを作成する（2時間）
- 第12回 「明代の小説」・『明代の小説』
 予習：『明代とはどのような時代なのか』を調べ把握する（2時間）
 復習：授業内容を復習し、課題レポートを作成する（2時間）
- 第13回 「明代の小説」・『明代の小説』
 予習：指定された『明代短編小説』を一読し、内容を把握する（2時間）
 復習：授業内容を復習し、課題レポートを作成する（2時間）
- 第14回 「清代の小説」・『清代の小説』
 予習：『清代とはどのような時代なのか』を調べ把握する（2時間）
 復習：授業内容を復習し、課題レポートを作成する（2時間）
- 第15回 「魯迅へ」予習：『近代の作家・作品』を調べ把握する（2時間）
 復習：授業内容を復習し、課題レポートを作成する（2時間）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	<input type="radio"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/>	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/>	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A～L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	<input type="checkbox"/>	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

商学部生に求められる「自業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「人間、社会に関するこれまでの学問的成果の基礎」、人間社会学部生に求められる「日常生活と文化といった現実社会の様々なテーマ」に習熟し、いずれにも関わる中国文化、社会について理解する資質・能力を身につける。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

講義内容・状況により規定に基づき、授業追加資料を PDF、PPT 等により掲載する場合がある。

実務経験の有無及び活用

備考